

いわた 文化財だより 第234号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和6年9月2日発行

目次

- 旧見付学校で企画展開催中！しずおか遺産
近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶 P1～2
- 歴史文書館へ行こう！ P3
- 「昔の授業体験」参加者募集 P4
- コラム『3つのタイムカプセル』大草悦子 P4



旧見付学校で企画展開催中！

しずおか遺産

近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶



展示室の様子

開催中～10月27日(日)
9時～16時30分

休館日:月曜日

場 所:旧見付学校(見付 2452-1)

その他:入場無料

問合せ:旧見付学校

☎0538-32-4511

「しずおか遺産」とは

静岡県内の魅力的な歴史文化資源を県内外の多くの人に知ってもらい、現地を訪れていただくために、「日本遺産」の県内版として令和4年度に創設された制度です。

令和5年1月24日、磐田市が代表となって2市2町が合同で申請した「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」が、しずおか遺産に認定されました。



県ホームページ

「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」とは

明治5年(1872)、学制が發布され、各地で寺院等を利用し学校が開かれる中、新校舎の建築の動きもみられるようになりました。県内でも伝統的な日本建築を踏襲しつつ、外見は洋風の校舎が造られ、その建物は、学校としての役割を終えた現在も、子供たちが初めて体感した日本の近代化の象徴として、地域の人々に愛され、語り継がれています。

旧見付学校(磐田市・国指定史跡)・岩科学校(松崎町・国指定重要文化財)をはじめとして、城下学校(森町)、内田学校(菊川市)の明治前期の学校建築や町並みなど、19件の文化財がしずおか遺産に認定されています。

近代初期に造られた学校は、訪れた人に「しずおか人」の教育にかける意気込みを、今も伝えていきます。

展示のみどころ

「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」構成文化財一挙紹介

磐田市内の構成文化財である、明治時代に見付学校と並んで遠州三大学校と言われた西之島学校・坊中学校の跡地や、同じ明治時代の建築物、その周辺の町並みなどを含めた、下の地図で示した全 19 件の文化財をご紹介します。



市町の位置と構成文化財



旧見付学校と淡海国玉神社の鳥居（市内見付）



見付宿の町並み（市内見付）



城下学校（森町）



岩科学学校（松崎町）



内田学校（菊川市）

展示のみどころ

映像で見る「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」

展示室では、「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」をわかりやすく紹介した 3 分程度の動画もご覧いただけます。

このほか館内には、明治から昭和の時代に使われていた学用品やオルガンなども展示しています。あわせてご覧ください。



映像放映

まだまだあります！市内のしずおか遺産

市内には「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」以外にも、県西部の 8 市町（浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、牧之原市）に所在する 48 件の文化財で構成された「秋葉信仰と街道」の構成文化財があります。

「秋葉山」は戦国の世では、武運長久のご利益を求めた武将の信仰を集め、江戸時代には火防の効力を期待する民衆の信仰を集めました。参詣者が辿った道は「秋葉街道」と呼ばれ、道沿いには秋葉燈籠が建てられました。

磐田市では、見付宿、見付地区にある秋葉燈籠、見付天神などが構成文化財となっています。

歴史文書館へ行こう！

現在、歴史文書館では2つの展示をおこなっています。この機会に歴史文書館を訪ねてみませんか。

磐田市歴史文書館

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：土・日・祝日

場所：磐田市岡 729-1（磐田市竜洋支所内）

その他：入場無料

問合せ：歴史文書館 ☎0538-66-9112



1階展示室

昭和の見付宿場通り

開催中～10月25日

昭和40年代から昭和50年代の見付宿場通り周辺は、どのような町並みであったのかを紹介しています。

歴史文書館では昨年度より、広報いわたなどで昔懐かしの写真を募集しており、ご寄贈いただいた写真の一部（見付宿場通り周辺）を展示しています。

懐かしい見付の風景をご覧ください。



展示室の様子

2階展示室

明治時代の教科書を読む

～『啓蒙書牘』～

開催中～10月18日

今回は『啓蒙書牘』を中心に展示しています。

『啓蒙書牘』は、明治14年に、旧幕臣で静岡に移り住んだ蜂屋定憲が編集した教科書です。蜂屋は、明治8年に静岡県の学務課長となり、後に静岡師範学校の校長を務めた人物です。



展示室の様子

『書牘』とは、手紙や書状のことで、手紙や証文の文例を通して文章力の習得を目指しました。実際の手紙や『女四書』といった明治時代の女性が使っていた教科書などもあわせて展示しています。ぜひご覧ください。

9月7日(土)から受付開始！ 旧見付学校「昔の授業体験」参加者募集



現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎である旧見付学校で、かすりの着物を着用して明治時代の小学生になった気分でご国語や唱歌、体操の授業を体験してみませんか。



授業体験の様子（令和5年度撮影）

とき：9月29日（日） 9時30分～11時30分

ところ：旧見付学校（見付2452-1）

対象：小学生 定員：先着30名 参加費：500円

申込：9月7日（土）～9月15日（日）

①参加者の氏名②学校名③学年④身長⑤性別⑥保護者の住所・氏名・電話番号を記載してメールで旧見付学校まで

※詳細は後日メールにてお知らせします。

<申込・問合せ> 旧見付学校（月曜、祝日の翌日休館）

TEL&FAX 0538-32-4511 メール iwata-mitsuke@uv.tnc.ne.jp

職員リレー コラム

3つのタイムカプセル

大草 悦子

私が多少なりともかかわることになったタイムカプセルが3つあります。

1つ目は、磐田中部小学校が創立100周年を迎えた時、その記念行事の一つとして、50年後に掘り出す予定で埋められたタイムカプセルです。当時在校生だった私の、50年後の自分宛に書いた手紙も入っていたはずなのですが、昨年創立150周年を迎え、探されましたが、行方不明です。

2つ目は、一市三町一村合併記念に製作されたガラスのオブジェです。このオブジェは10年間、市役所1階ホールに飾られていたので、見かけた方もいらっしゃると思います。何気なく視界に入っていたのですが、ある日を境に幕がかけられているようになりました。理由を知っていきそうな職員に話を聞いて、無事にタイムカプセルとしての役目を終えたことを知りました。そういえば、タイムカプセルだったなあって思い出し、中身の発送にもかかわっていた記憶もよみがえりました。

3つ目は、解体作業も終了した、市民文化会館の定礎の奥にしまわれていたタイムカプセルです。これは、100年後に開けられることを想定して、100年後の磐田市民にあてたメッセージがふきこまれたカセットテープなどが入っている、厳重にはんだ付けされた金属製の箱です。半分の50年すら待つことなく取り出され、残りの年月を歴史文書館で過ごすこととなりました。

結果がばらばらになった3つのタイムカプセル。何かを後世に残すとか、伝えるということは、案外難しいことなんだと実感させてくれました。



編集後記 酷暑の中、旧赤松家記念館開館20周年を記念したイベントにご参加いただきありがとうございます。文化財に触れるきっかけとなったならば幸いです。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田文化財だより

検索

